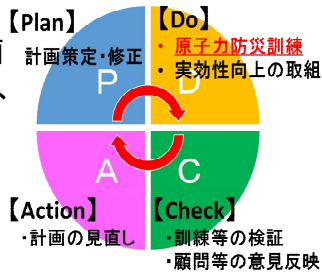


鳥取県の原子力防災（避難計画等の実効性向上）に関する取組

避難計画の実効性向上の取組

・鳥取県・米子市・境港市では、万一の島根原子力発電所での事故に備えて、地域防災計画（原子力災害対策編）や広域住民避難計画等、避難等の防護措置に必要な計画を策定。
 ・毎年、原子力防災訓練を実施し、訓練で得られた成果等に基づき、計画等を修正して、計画の深化と避難のさらなる実効性向上を図っている。



原子力防災訓練の実施・検証

毎年度、島根県・米子市・境港市・実動組織・関係機関等と合同で訓練を実施。



■ 令和3年度鳥取県原子力訓練実施予定

【期日】令和4年2月2日(水)、5日(土)

【内容】

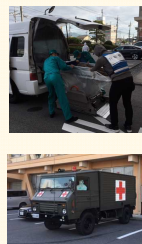
本部等運営訓練、緊急時モニタリング訓練、広報情報伝達訓練、住民避難訓練、避難退域時検査等訓練、原子力災害医療活動訓練、避難誘導・交通規制等訓練等

避難車両の確保

避難に必要なバスや福祉車両等を協定締結等により確保。

- ・「原子力災害時におけるバスによる緊急輸送等に関する協定」(H29.4: 島根県・鳥取県、中国5県バス協会)
- ・「大規模広域災害時におけるバスによる緊急輸送に関する協定」(H27.12: 2府8県、関西広域連合、2府8県のバス協会)
- ・「原子力災害時における福祉タクシーによる緊急輸送等に関する協定」(H29.7: 島根県・鳥取県、中国5県ハイヤータクシー協会)

不測の事態により確保した車両が対応できない場合は自衛隊等の実動組織に支援を要請。



避難の円滑化対策

避難経路の渋滞緩和等を図り、より確実な避難及び避難時間の短縮のため、避難円滑化対策の取組を実施。

【主な取組】

○信号機による交通流量の向上

信号機の遠隔制御化(17基)により、意図的に長い時間「青色灯火」にすることにより、避難車両の優先通行が可能。

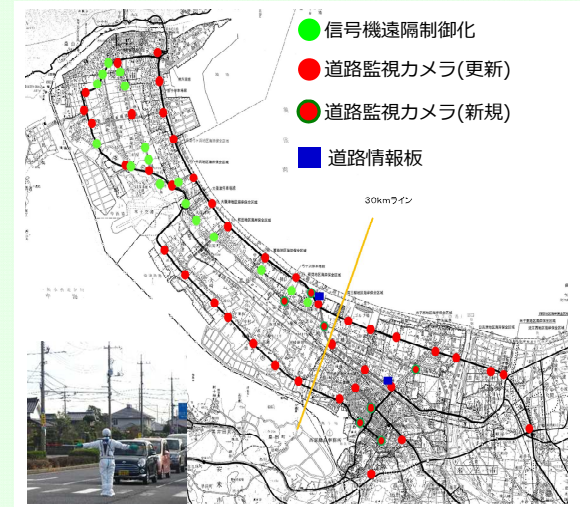
○道路監視体制の強化

道路監視カメラ(新設7基、更新47基)、道路カメラシステム構築により常時交通状況を確認し、迅速かつ的確な交通規制が可能。

○避難中の住民への情報提供の充実

道路情報板(2基)の設置

【信号機遠隔制御化】 【道路監視カメラ】 【道路情報板】



補給管理システムの構築

避難退域時検査で使うバス等の大型車両の除染用資機材等を標準化した上で、コンテナ化し一括管理することで迅速な輸送体制を構築。

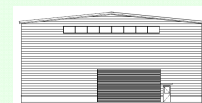


平常時

災害時

原子力防災支援拠点の整備

原子力防災資機材を一括保管するとともに、迅速な使用を可能にする原子力防災支援拠点(補給倉庫)を、吉岡温泉IC付近に整備中。



※拠点イメージ



避難受入先への普及啓発

【避難所周知システム】 【原子力防災ハンドブック】

広域避難受入先の施設に、「原子力災害時避難所」の標識等を設置。



原子力災害時の対応等の普及啓発のための広報紙UPZ圏内の他、避難先となる県内市町村の住民にも配布。



原子力防災アプリ

原子力防災や住民避難に関する各種情報を速やかに提供するアプリ。

【主な機能】

- ・避難等の指示
- ・モニタリング情報
- ・避難経路の検索

